

南アルプス前衛	平岡から櫛形山・桃の木鉱泉	No.031
---------	---------------	--------

前回(5月末)釜無山で発生した膝の痛みは、しばらく安静にしたら回復し、トレーニングも再開した。数ヶ月を要して貯金箱に貯めた「テント資金」が目標額に達し、ついに念願の夏用テント購入した。まず新しいテントの寝心地を試そうと思い、大げさにも一人で四人用テントを担いで櫛形山に挑んだ。

中央線の列車が甲府を過ぎると、左の車窓に南アルプスの前衛になる山々が連なって見える。それらの中で盆地と接しているどっしりした軍艦のような(ある人は鯨の様だとも言う)山が櫛形山だ。和櫛の背の形に似ていることからこの名が付いたといわれている。奥仙重2051.7m、裸山2002.6m、唐松岳1856mの三つの三角点を持ち、南北に走る稜線は西に早川の流れを挟んで白根三山(北岳、間岳、農鳥岳)と向き合っている。櫛形山の頂上は奥仙重にある。

昭和39年7月25日(快晴)

昼で勤めを終わり、13時47分発で新宿を出発。

甲府着16時32分。17時05分のバスに乗る予定だ

ったが乗り損ねたため、18時05分発になってしまった。そのため、盆地の西端の平岡に着いたらもう日も沈んだ19時。高尾の穂見神社に向かうべく歩き出すと、後ろから来た小型トラックが神社まで行くと言って乗せてくれた。トラックの荷台はおばさん風の人が二人に娘さん風の人が二人、それに乞食風の山男。神社の隣の大きな屋敷の人たちで、土曜なので甲府へ買い物に出たとのこと。助手席の年配の男性に神社境内に幕営させていただくようお願いしたら快く許していただけた。

穂見神社に19時半に到着。海拔 870mの高さなので真夏の暑さはない。乗せていただいて、時間的にはかなり助かった。屋敷の大きさからして多分宮司でもやっておられるのであろう。ごく普通の神社だが、真っ暗なので想外の迫力を感じる。

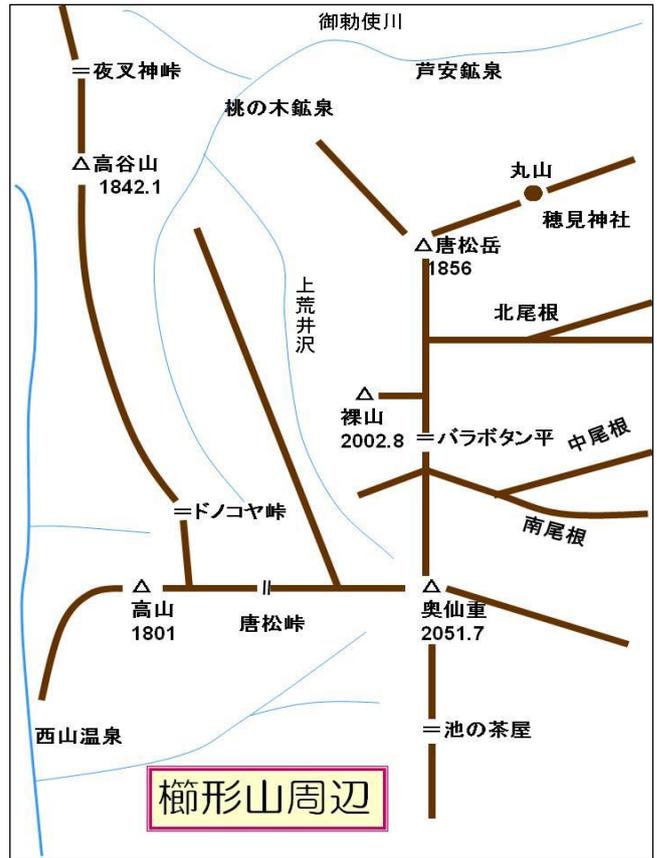
新しい自分のテントで初めての夜、星は満天、虫の声もかすかに…。食事を済ませて21時50分に就寝。

昭和39年7月26日

4時半起床。昨晩は暗くて見えず何とも感じなかったが、朝日を浴びてみると尊大な貫禄の神社の境内の中の一張のテントは、どう見てもアンバランスな景色だ。

パッキングをしていると、先ほどから頭上を飛んでいたクマンバチが一瞬攻撃の構えを見せたかと思うと、ブーンとうなりを上げながら腕まくりした左の肘に降りてきてチクリ。数十秒で腫れが始まった。すぐにアルコールを付けた手ぬぐいで縛り、腫れないように処置。攻撃したわけでもないのに刺されたのは全く腹立たしい。相手が動物でなければ道路交通取締法違反(曲がり角注射禁止)で捕まえてやるところだが、犯人はどこかへ高飛びしてしまい、事件は迷宮入りとなった。

5時40分、曲がらなくなった左手でザックを背負い出発。歩き出したために毒が回り始めたのか、数時間は何となく調子が出ない。まずは丸山(1625m)への登りから始まる。朝一番の登りにしてはスムーズにペー



踏み跡 < My mountains >

スが作れて、7時53分に丸山山頂に到着。次のピークの唐松岳(1856.4m)には9時05分に到着。

唐松岳から南へ進むと、起伏が少なくゆるやかな曲線の幅広い尾根道になる。アヤメ平と標識が建っておりその名のとおり満開のアヤメが出迎えてくれた。海拔 1900mの稜線上で見るアヤメの群生は見事。アヤメとともに花弁を誇っているのがクルマユリ。オシベ、メシベを外に突き出して、振り返った花弁が草原のいたるところに顔を見せている。

時間は10時20分、少しばかり花を眺めて写真を撮影に専念し10時50分までたっぷり休憩。

さらにゆるやかな傾斜を登っていくと

裸山(2002.6m) 11時05分。ここはとりわけ花が賑わうわけでもない三角点があるだけのコブだった。

なだらかな稜線を南へ進むとバラボタン平、アヤメ平と同じように草原のような花畑が広がる場所。

櫛形山という山群の最高峰はさらに南へ進んだ奥仙重(2052.2m)にあるのだが、時間の都合でここから下山することにした。

バラボタン平から西へ下り上荒井沢に入る。途中で30分の休憩をとり、ポリタンクの最後の水を飲み切って羊羹のおやつ。上荒井沢の流れに出たところで水を補給したが、補給した水の殆どは土産になった。

桃の木鉱泉に13時50分に到着し、バス停のある芦安に着いたのは14時25分だった。

何はさておき、この櫛形山の素晴らしさはこれに尽きる。それは所狭しと咲き乱れる草花の群れ。

高曇りの一日は過ぎ、花の写真集になるはずのフィルムを大事に持ち、家路についた。

今回の山旅で、食料に関するひとつの実験をやってみた。昨今有名になってきた乾燥野菜を数種持参して試食してみた。持ってきたのはキャベツ、ジャガイモ、タマネギ。率直な印象としては、軽量であるという長所以外には何も取り柄はない感じがした。乾燥状態から生に戻すのに時間がかかる上に野菜の味がせず美味しく感じないということ。

以上

(修正・更新:2023年10月)